

令和4年度 第2回倉吉市社会教育委員協議会（概要）

- 1 日 時 令和5年3月30日（木）午後1時30分～3時25分
- 2 場 所 市役所北庁舎A会議室
- 3 出席者 委 員 廣谷会長、長岡副会長、岩垣委員、小椋委員、眞田委員、大津委員、
山脇委員、野儀委員、明里委員、柘田委員
（欠席：、矢田委員、前田委員、大井委員、）
事務局 小椋教育長、種子事務局長、谷本社会教育課長、藤井文化財課長、
根鈴博物館長、石賀図書館長、井谷社会教育係長
山本地域づくり支援課長

4 報告・協議事項

（1）令和4年度倉吉市教育委員会（社会教育関係）の重点施策に基づく実績及び評価について

[主な意見等]

- ・全体を通じて評価が全部Bになっていて、控えめな評価ではないか。生涯学習講座の皆勤賞の方が例年の倍以上であったり、図書館の講演会において、手話や要約筆記等を取り入れたり、文化財のほうでは、県外の大学から調査協力に來られ、交流人口を増しているという意味でとても価値があったと思う。

⇒全体あるいは年間を通しての評価としている。110%を超える成果とは言い切れないところがある。当初の目標は達成したということでB評価としている。

（2）令和5年度倉吉市教育方針と重点施策について

○社会教育関係課・館の主な事業概要・予算額

[主な意見等]

- ・新しい美術館ができた後、倉吉博物館がどういう個性を出していくのか、イメージがあったら教えていただきたい。

⇒県立美術館は現代美術に軸足を置いた方向性を打ち出している。倉吉博物館としては、これまでの独自の活動を引き続き進めながら、ものづくりに焦点を当てた取り組みを進めていきたい。

- ・北谷小学校等の体育館や校庭は使われなくなると思うが、まずどこで、どういうふうにされるのか、教育委員会としての方針をうかがいたい。

⇒まだ具体的な話はしていないが、グラウンドや体育館は今まで通り地元の方に使ってもらえるようにしたいと思っている。利用される方の調整は、コミュニティセンターで引き続きお願いをしたい。

- ・デジタル化やICT化を、社会教育全体としても取り組まなければいけない時期にきている。コミュニティセンターにおけるインターネット環境や機器の設営、図書館や博物館におけるデジタルアーカイブ化や電子書籍の導入なども、検討を早める時期だと思う。

⇒各地区のコミュニティセンターには、令和2年度末にWi-Fiも含めたネット環境の整備と周辺機器の整備も合わせて行った。それぞれのコミュニティセンターでそれを活用した事業にも取り組んでいただいている。図書館では、電子書籍を含むデジタルアーカイブ、DX化に向けての勉強会を、令和4年度から中部1市4町で始めているところ。交流プラザの施設のWi-Fiはすでに整備済み。会議などのオンライン開催等に使用可能。博物

館においては、令和5年度博物館資料のアーカイブ化についての調査研究を行い、予算要求まで持っていきたいと考えている。

(3) その他

[主な意見等]

○公民館研究指定事業の移管／社会教育士の取得について

- ・今回の一本化に賛成。すっきりするのではないかと。ただ、事務的にどうすればいいのか、丁寧にコミュニティセンター主事にきちっと伝えてもらいたい。教育委員会と地域づくり支援課の連携については、うまくいくまではしっかりとお願いしたい

⇒今月すべてのコミュニティセンターを回って、事業の実施について話をさせていただいた。4月以降も詳細について説明させていただく。教育委員会とも、これまでの実施状況など十分指導いただきながら取り組んで参りたい。

- ・公民館研究指定事業というのは結構大事な事業だと思っている。実施や計画に対してすり合わせをするのに考え方の違いがあるとあまりよくないので、地域づくり支援課の方々にも社会教育主事講習を受講して勉強していただきたい。

⇒4月以降は地域づくり支援課にも資格を取得した職員が配置になった。手厚くコミュニティセンターともやりとりができるのではないかと考えている。

- ・今まで公民館が担ってきた教育的要素をどのように引き継ぎ、継承していくかが課題。地域住民の要求課題だけではなく、必要課題をどう打ち出していけるか、そこを地域づくり支援課がどのように担っていくのか。人材育成の面では、社会教育士・社会教育主事について、取得して終わりではなく研修とか勉強会っていうのは随時行っていくべき。社会教育課が提案し、みんなで広げていくような仕組みになるとよい。連携のあり方としては、日々の情報共有であったり一緒に考えるような信頼関係づくりを社会教育課と地域づくり支援課、コミュニティセンターとの間で手厚くお願いしたい。

⇒まだ見えてこない部分はあるが、連携、お互いが歩み寄って日々情報交換をして、コミュニティセンターの職員も含めて良い関係を構築しながらこの事業を進めていきたい。

○中学校の部活動の地域移行について

- ・中学生をいかに地域で応援していくことがどうやったらできるかを、皆さんで話題に上げて、いろんなご意見を伺いながら今後社会教育という観点で議論をしていただくことはできないか。

⇒大きな課題と捉えている。中学校の部活動の地域移行がどんな中身なのかを、まず委員の皆様概要と課題等を説明をさせていただいてからではないかと、問題が大き過ぎて難しいのではないかと考えている。

○鳥取県社会教育委員連絡協議会について

- ・山脇正子委員の表彰決定についての報告
- ・R5～6年度の役員（監事）の選出について

5 その他

○各所属団体からのお知らせ等

- ・コミュニティセンター職員の待遇改善について報告（コミュニティセンター指定管理者連絡会）